編集発行
埼玉県合気道連盟

彩の合気

埼玉県合気道連盟機関誌NO．１９

新年度に向けて

連盟理事長　　川路　昌治

昨年は次々と襲いかかる自然の容赦ない「猛威」の前になす術のない無力な人間の姿が浮き彫りにされたと言ってよいのではないでしょうか。月に到達し、人間の移住の可能性を模索する時代にあって、アジアの一角で発生した予期せぬ大地震は多くの尊い命を奪い、広範囲に亘るあらゆる破壊をもたらした。スマトラ沖大地震とその影響によるインド洋沖大津波の発生から数ヶ月、今尚、行方不明の邦人すらいる。日本でも天変地異を思わせるかの如き、初秋になっても一向に衰えなかった異常な猛暑、記録を塗り替える大型台風の上陸の連続、とてつもない被害の爪痕を残した。休む間もなく新潟中越地震の発生、おまけに今年に入ってからの記録的な大雪。先祖伝来の「一所懸命」の地を離れざるをえない住民がでていることは周知のとおりです。痛恨の極みと言わざるをえません。

洋の東西を問わず、自然を恐れた人間は後世の人々に何かを伝えようとしてきた。それが「神話」の怪奇ものの一説です。日本の「記紀」伝説スサノオの怪物ヤマタノオロチ退治も洪水・氾濫をもたらす神を蛇体に想定し、それを克服する人間の知恵を示した典型と考えられています。

自然を征服しようとするのが西欧の思想、自然の観察眼にすぐれ順応するのが日本人の発想。古の知恵を思い出す必要がありましょう。日本の風土の中から生まれるべきして生まれた合気道。万和合の力で自己を研鑽し揺るぎない心を説かれた開祖の深奥な心が忍ばれます。

ところで、昨年の講習会では、県下２７団体３４５名という過去最多の参加を得て盛大に行われ、また少年錬成会も１２団体１８１名の参加で、充実した錬成会となりました。これも偏に、各団体の普段のご努力・精進の賜と、感謝申し上げます。変転著しく、憂いべく凄惨な事件が立て続けに起こる世相ですが、めざせ武道で日本の再建。こころの時代を求める声に応えるべく、心身一如の理念を一層高く掲げ、今年も力強く邁進しましょう。

県連・新年会　：平成１７年１月２３日(日)

――― ７団体１３名で盛大に！

１月２３日、午後５時半より、和光市「養老の滝」において年始恒例の県連理事会主催新年会が、１３名の参加のもと盛大に開催された。

最初に、川路理事長より、「昨年は盛大に合同講習会を実施することができました。今年もあの勢いが持続するよう期待したい」の挨拶のあと、石垣師範の乾杯で歓談に入りました。

各団体からの報告では、市民合気道教室に力を入れ次第に裾野が広がりつつある入間幸武館の取り組み、大宮道場からは上海合宿に十数名が参加し、現地での稽古の様子が報告されました。中国でも日本の武道に対する関心が高く、稽古者の数が多いというのが印象的でした。

A&P 石垣道場からは、バリ島合宿の成果が報告され、今年はニュージランドに出向く計画があるとのことでした。また、久喜合気道同好会からは少年部を中心に会員の増加がみられるといった嬉しい報告もありました。

当面の県連予定

◎県連理事会　日時：平成１７年４月１０日(日)
◎第２０回県連少年錬成会（理事会同時開催）
　場所：さいたま市大宮武道館２F　第二錬成道場
　日時：平成１７年４月１０日(日)午後２時
◎第２３回県連合同講習会
　場所：さいたま市記念総合体育館（浦和）
　日時：平成１７年９月２５日(日)午後２時～
◎第２３回県連定期総会予定
　日時：平成１７年７月３日　場所：埼玉会館予定

各団体・演武会特集　（平成１６年度）

浦和合気会　　山下　勇

第３３回浦和合気会演武大会

平成１６年９月１９日、いつも稽古している駒場体育館に立錐の余地もないほど沢山の方々においで頂き、２１団体をお迎えして第３３回目となる浦和合気会演武大会を開催いたしました。大勢の前で、会員一同日ごろの稽古の成果を出そうとそれぞれが演武に取り組みました。合気道を始めたばかりの人から、合気道歴の長い熟練した演武、最後に浦和合気会・林会長の演武で演武会をしめくくりました。演武会に向けて、一生懸命稽古をした成果を披露することができたと思います。演武会終了後、毎年恒例となっています本部師範・遠藤征四郎先生の講習会が行われました。

演武会参加者のほとんどが講習会に参加し、国内外で広く指導される遠藤先生の言葉、技を習得しようと、とてもはりつめた緊張感のある講習会となりました。講習会では気の出し方、相手に肩・腰を押さえての体捌き等・・・他団体の方々も興味深い楽しい講習会であった、との評判でした。

講習会終了後の懇親会では、美味しい食事とお酒を酌み交わしながら和気藹々と大勢の人たちが団体を関係なく交流を深めることができました。

あっというまの一日でしたが、会の一番大きな行事である演武大会を無事終了し、大きな達成感を得ることができました。

今回、おいで頂いた招待団体からも励ましの言葉、またアドバイスもたくさんいただきました。それらをしっかりと受け止め、反省し次の演武大会に生かしたいと思います。

最後に、お忙しい中、皆様にご協力を頂き、まことに有難うございました。これからも浦和合気会をより発展させ、反省点を生かし次の演武大会を迎えたいと思います。

合気道健武館　　須野原　美恵子

２０周年記念演武大会

１０月３１日(日)前日の雨と当日の雨模様の予想にもかかわらず、晴天に恵まれました。

主催者挨拶を須野原館長が二十歳を記念して地域貢献のため上越新幹線の新駅・本庄早稲田駅建設基金に互助会の協力を得て寄付した旨の報告と感謝を述べました。

また、健武館のモットー「武を以て健やかなるを目的とする、健やかなるは人生の礎なり。」は思いやりのある合気道の技を鍛錬する事によって、精神的、肉体的、社会的な健康を培い、あらゆるスポーツや社会生活面で活躍できる基礎づくりを期待できる。その為には合気道の稽古を続けることが大切であり、稽古を休まない為には日々の自己管理を要する事と、頭ではなく身体で覚える事が大切の旨を話された。

来賓の田村町長さんや吉竹教育長さんから須野原館長が町の教育委員長として活躍すると共に合気道による心の教育を実践されていることを評価された祝辞、渡邉信之本部道場師範から「笑顔でしっかり演武して下さい。」のお言葉を頂き少年部の稽古風景から演武が始まりました。

子供たちの演武に続き、賛助演武は千葉県の国府台女子高校、寄居ファミリークラブ、招待演武では入間幸武館道場、浦和合気会、合気道和光支部、越谷市合気道連盟、荒川合気会の皆さん方に演武を披露して頂きました。成人の演武では基本技、応用護身技、対武器応用技が行われた後、本部道場の渡邉信之師範の総括演武にて呼吸の大切さを説明され、肩を挙げ胸郭を広げる事の大切さなど含蓄ある総括演武を頂き、盛会にて大会を締め括る事ができました。

２０周年を記念して資料集（母と子の合気道ほか）を作成し、好評を得ています。家庭教育の参考になると学校でも使用したい旨を頂きました。希望の方は住所を明記して申込み下さい。

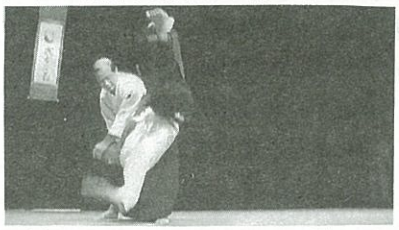
合気道和光支部

永井　有希子

子供たちの姿に感動　！

去る１１月２３日、合気道和光支部の第３３回演武会が開催された。その日は朝から晴天に恵まれ、気温も上がり、過ごし易い秋の１日となった。

演武会は部員にとって日々の稽古の成果を発表できる、年に一度の貴重な日である。「晴れの舞台で、恥ずかしい演武をしないように…」と、勢い緊張も高まってしまう。開演時間が近づくにつれ、口数が少なくなっていく大人たち。それに比べ、子供たちは至って無邪気だ。いつもと変らず元気一杯の彼らの姿を見ているにつれて、私の緊張も解れて来た。



１２時、開演。太鼓の音と共に、第３３回演武会が幕を明けた。師範による簡単な技の説明の後、子供たちによる演武が始まった。最初こそ緊張した様子が伺えたが、演武が始まった途端、まなざしがガラリと変わり真剣な面持ちでそれぞれの技を披露していた。大人に決して劣らない迫力と、子供らしい伸び伸びとした演武で、皆楽しそうに、日頃の稽古の成果を存分に披露していた。

入部したての１０級～９級の子供たちによる演武では、皆覚えたての技を一生懸命披露していたが、初めての体験で緊張したのか、技を忘れて戸惑っている子もいた。そんな子には、受けを取っていた相手の子供が「こうだよ」と優しく教えており、思いやり、助け合いの精神がきちんと育っているんだなあ、と思わず感動してしまった。

それにしても、子供たちの、大人顔負けの難しい技の連続には正直面食らってしまった。子供の成長の早さ、飲み込みの速さが、なんとも羨ましい限りである。

その後、本部道場をはじめ、他道場の方々による素晴らしい演武、そして我らが和光支部師範、川路昌治先生による迫力満点の演武が行われ、３３回演武大会は無事幕を閉じた。無事成し遂げたという達成感からか、皆の顔に晴れやかな笑顔が浮かぶ。この演武大会が、子供たちにとっても、良い思い出として胸に刻まれることを願っている。

道場だより

久喜合気道同好会

宮野　秀男

寒中合宿のお誘い

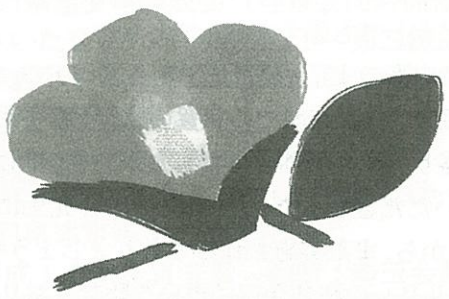
毎年行ってきた赤木山麓での寒中合宿も、今年で７回目となる筈でしたが、前日からの雪で、今年は当日に急遽中止となってしまいました。寒さだけなら何とかなるのですが、慣れない雪道の運転には不安が伴い、中止の決定は苦汁をなめる事になりました。

そもそも寒中稽古の始まりは「柔道場が有り近くて安く合宿が出来る施設は無いか？」こんな話題を飲みながら討論した事から、この合宿はスタートしました。すると「国立青年の家を利用すれば」そんな貴重な意見があり、早速電話で問い合わせたところ、宿泊料金は夕・朝食にシーツ料を含めて１３００円位で泊まれる事が可能だとの事。「なんて素晴らしい施設なんだ！」早速寒中合宿の実行委員が徴集されました。

この合宿での目的は稽古と会員の交流だけでなく、稽古のビデオ撮影を行い、その後の反省会でビデオを見ながら検討会を行う事でした。日頃の稽古では撮影するだけで、全員でその検討するのは時間的にも難しいですが、合宿では入浴後賑やかな検討会が始まります。自分の想像では、結構カッコ良くやっている気がしているのですが、映像を見るとその期待は笑ってごまかす事が多くなるような気がしました。それでも初めて自分の技を見た仲間は、「凄く勉強になり良い勉強になりました。」と喜んでいました。

食事は夕・朝ともバイキング方式、どんな大食な方でも満足していただけますし、浴室も昨年新築され稽古後の疲れを取るのには最高です。

今年は雪のため中止になりましたが、久喜合気道同好会は来年も赤城青年の家で寒中合宿をやる予定です。大自然の中、安価で、気持ち良く稽古が出来る施設です。皆様も是非利用してみて下さい。



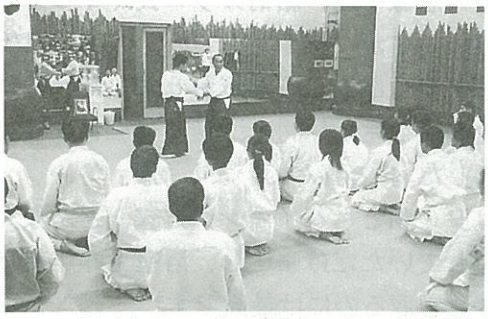
合気道大宮道場　　平田　繁

２００５年海外合宿（上海）を終えて

大宮道場（久喜、蕨道場からも参加）の海外合宿に初めて参加して、合気道だけでなく多くのことを勉強させていただきました。

私達が訪問しました中国・上海の道場では、昨年合気神社（茨城県岩間）で一度お会いしたことのある野倉さんがご夫婦で指導をされておりました。海外の地にありながら、しっかりと統率が取れた練習風景には驚かされました。しかし、ここ上海には太極拳など古くからの中国武道があり、合気道がなかなか受け入れられなかったと野倉さんが語っていた通り、有段者の方が少なく、有段者の方も、そうでない方も、なかなか有段者の方と稽古をする機会がないらしく、僕らは稽古でも引っ張りだこでした。もちろん、市塚師範のご指導を直に受けられた喜びは隠せない様子で、多くのメンバーが稽古後の懇親会にも参加され、私達もいっぱいご馳走になりました。

また、今回の海外合宿で得たものは合気道のことだけではありません。まず、驚かされたのは上海（中国）の経済事情でした。街中には高層ビル（お金は外資？）が乱立し建築ラッシュで、郊外でもマンション、工場などがこれまた建築中で、ハイウェイもそこら中で増幅、新設の工事中でした。



もちろん、中国らしい古い街並みや田園風景は壊され高層建築物に、工業団地にと変わっていっています。そして、少し前までは自転車が大手を振って走り回っていた道には、新しい車の行列。４年後のオリンピックまで、その後の万博までこのままこの国が平穏に成長して行くとはどうしても思えませんでした。

今回は上海の夜景・蘇州見学からリニアモーターカーの体験乗車、豫園商城でのお買い物、上海での合気道の稽古と盛り沢山の海外合宿でしたが、中心的に企画運営をしていただきました久喜道場の川合先生に感謝申し上げ、今から、また実施されるでありましょう今年の「バリ」「パリ？」の海外合宿に思いを馳せております。

狭山市合気道教室　　山本　久則

狭山市合気道教室の紹介

狭山市合気道教室は、平成２年９月に合気道自然館初代・吾妻久朝館長により開設されました。当初は、数組の親子から始め、年々会員数が増加し、私が、初めて稽古に参加した平成８年頃は、一般会員が１２名程度、子供が３０数名を数えるほどの時期もありました。

その後、子供の中学進級などにより、一般会員・子供の数が減り、一時、全会員合わせて１０名にも満たなく、錬成会等にも参加できない時期もありました。加えて、自然館初代・吾妻久朝館長がご病気のため急逝され、一時は存続の危機にも立たされたこともありました。

しかし、現在は、一般８名、子供２２名までに会員が増え、昨年は、埼玉県合気道連盟少年錬成会、全日本少年錬成会にも参加するようになり、以前の活気を取り戻し稽古に励んでいます。

稽古は、狭山市武道館柔道場において、自然館吾妻正義館長、ご兄弟の吾妻正裕（現堀口正裕）参段をはじめとして、自然館の有段者、入間基地合気道部の有段者の方々のご協力により、毎週土曜日、午後１時３０分から２時３０分の１時間、道場における心構え、準備運動に始まり技の稽古から最後の掃除まで、時には厳しく、時にはやさしく、また楽しく、大人と子供が一緒に行っています。

今後も「自然に、無理なく、争わず」を基本方針に、気軽に合気道に触れられる機会として、和気あいあいと楽しく稽古できるような、また、開設当初のように一般と子供がそれぞれに稽古し、一般会員から有段者が育っていくような、狭山市合気道教室となることを願って稽古に励みたいと思います。

最後になりますが、インターネットホームページをご紹介させていただきます。

「狭山市合気道教室」http://www5.ocn.ne.jp/~aikidou/